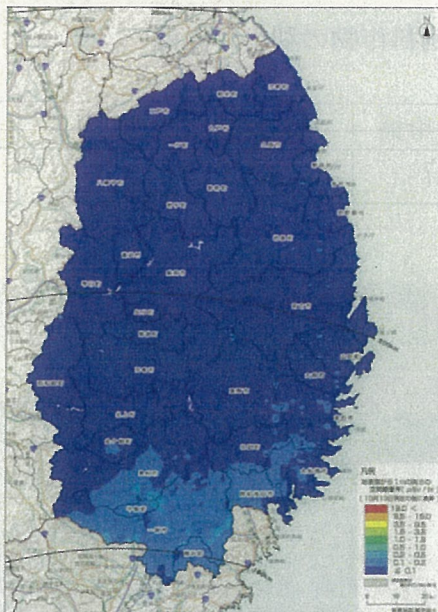


畜産分野における原発事故による放射性物質の影響及び対応

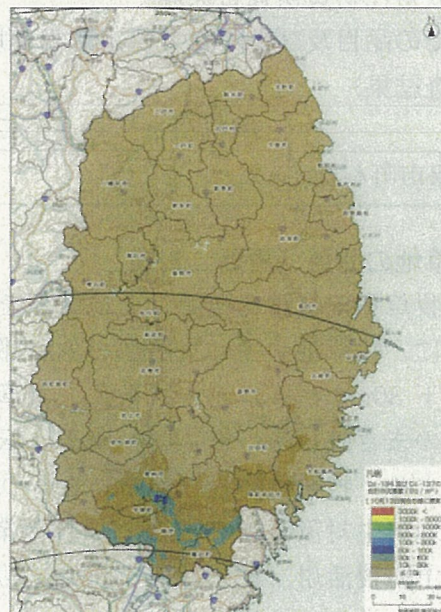
1 これまでの経過

月 日	事 象
3 月 12・14 日	・福島原発 1 号機建屋で水素爆発、3 号機建屋で爆発
3 月 19～21 日	・原発事故を踏まえた家畜の飼養管理について注意喚起 ・原発事故に対応した農作物技術情報（緊急号外）発出
5 月 13 日	・畜産研究所（滝沢村）の採取牧草で、粗飼料の暫定許容値超過を確認。
6 月 10 日	・一関市・藤沢町の採取牧草で、粗飼料の暫定許容値超過を確認。
6 月 15 日	・遠野市、陸前高田市、平泉町、大槌町の採取牧草で、粗飼料の暫定許容値超過を確認。
7 月 20 日	・県内畜産農家 22 戸で、原発事故後に収集された稲わらの給与判明。5 戸で粗飼料の暫定許容値超過を確認。
8 月 1 日	・岩手県に対し、原子力災害対策本部長から「牛の出荷制限の指示」
8 月 25 日	・「牛の出荷制限」の一部解除。
8 月 29 日	・岩畜で牛の全頭検査を開始
9 月 5 日	・一関市の肥育牛 2 頭で、牛肉の暫定規制値超過を確認
9 月 15 日	・金ヶ崎町の廃用牛（ホルスタイン種）1 頭で、牛肉の暫定規制値超過を確認
10 月 3 日	・牛肉中の放射性物質濃度を推計するための農家全戸の牧草検査の開始
10 月 13 日	・一関市の廃用牛（ホルスタイン種）1 頭で、牛肉の暫定規制値超過を確認
11 月 21 日	・廃用牛及び一関地域の肥育牛の一時集中管理施設を設置
12 月 2 日	・一関市の廃用牛（黒毛和種）2 頭で、牛肉の暫定規制値超過を確認
12 月 20 日	・農家全戸の牧草検査に基づく牛の出荷延期指導を強化
1 月 25 日	・盛岡市の廃用牛（ホルスタイン種）1 頭で、牛肉の暫定規制値超過を確認

(地表面高さ 1m の空間線量率)



(セシウム 134・137 沈着状況)



2 牧草・飼料作物の検査状況及び対応

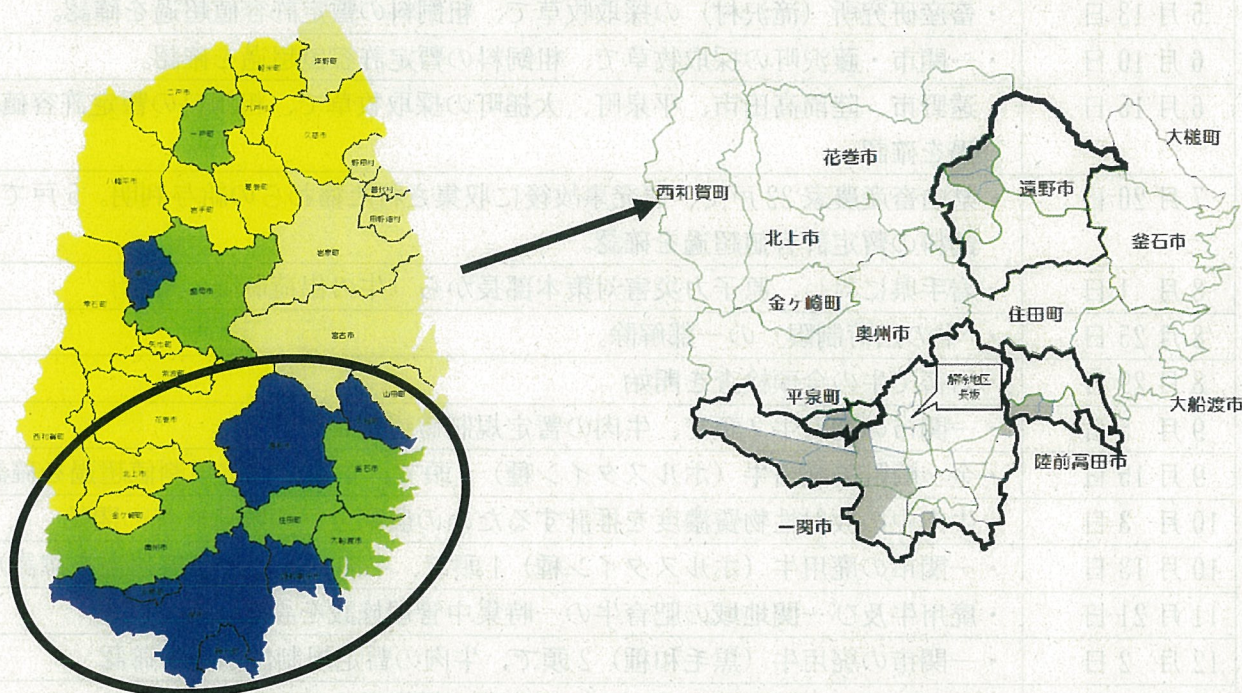
(1) 牧草

- ・一関市、遠野市、陸前高田市、平泉町の4市町8エリアに対し、牧草の利用自粛を要請中。
- ・利用自粛を要請していない地域で、牧草のみ給与していた牛から、牛肉の暫定規制値を超過する放射性セシウムが検出された事案を受け、畜産農家個々の給与牧草の検査を実施中。

【牧草の利用自粛要請の状況】

6月末の利用自粛の状況（青塗り部分）

11月末現在の利用自粛地域



(2) 夏作飼料作物

- ・飼料用とうもろこし、飼料用稲、稲わらなどの本年産の飼料作物について、全市町村を対象に放射性物質検査を実施。
- ・全ての品目及び市町村で暫定許容値以下 → 飼料作物の利用が可能

(調査結果)

	飼料用とうもろこし	飼料用稲	稲わら	ソルガム	エン麦
対象市町村数	31	17	33	10	1

(3) 牧草地の除染（更新）対策

- ・牧草利用自粛を要請した地域等を対象に、牧草地土壌の上層部と下層部（地下30cm程度）を入れ替え、牧草種子のまき直しを行う、いわゆる反転耕による、牧草地除染（更新）を行う牧草地再生対策事業を創設。（県単事業、国予備費活用、1/20現在 90ha実施）



3 原乳の検査状況

- ・県内のコールドセンター（CC）及びコールドセンター機能を備えた乳業工場の13乳業施設を対象に、1/30以降、毎週検査を実施。
- ・1月10日以降、全ての乳業施設で「不検出」

(検査結果)

(単位：Bq/kg)

市町村名	6/27	12/5	12/12	12/19	12/26	1/10	1/16	1/23	1/30
八幡平市(CC)	不検出	不検出	—	不検出	—	不検出	—	不検出	不検出
雫石町(乳業工場)	〃	〃	—	〃	—	〃	—	〃	〃
二戸市(乳業工場)	〃	〃	—	〃	—	〃	—	〃	〃
一戸町(乳業工場)	〃	〃	—	〃	—	〃	—	〃	〃
葛巻町(乳業工場)	〃	〃	—	〃	—	〃	—	〃	〃
葛巻町(CC)	〃	〃	—	〃	—	〃	—	〃	〃
洋野町(CC)	〃	—	不検出	—	不検出	—	不検出	—	〃
岩泉町(CC)	〃	—	〃	—	〃	—	〃	—	〃
大船渡市(乳業工場)	—	—	9.3	—	〃	—	〃	—	〃
遠野市(CC)	—	—	19.7	—	21.5	—	〃	—	〃
一関市(CC)	—	—	不検出	—	不検出	—	〃	—	〃
金ケ崎町(CC)	—	—	7.2	—	〃	—	〃	—	〃
西和賀町(乳業工場)	—	—	不検出	—	8.1	—	〃	—	〃

4 県産牛肉の検査状況(1/25現在)

- ・牛の出荷制限の一部解除(H23.8.25)以降、県内(岩手畜産流通センター)及び県外9都県15と畜場で、約14,000頭の県産牛の検査を実施

(1) 県内

①と畜頭数:6,005頭(うち全戸検査:1,311頭、全頭検査879頭、自主検査1,740頭)

②検査結果

区分	50Bq以下	50Bq超～100Bq未満	100Bq超～500Bq未満	500Bq超	合計
全戸検査	1,814頭(93.2%)	78頭(4.0%)	49頭(2.5%)	5頭(0.3%)	1,946頭(100%)
全頭検査	1,320頭(94.8%)	61頭(4.4%)	10頭(0.7%)	2頭(0.1%)	1,393頭(100%)
自主検査	2,630頭(98.6%)	31頭(1.2%)	5頭(0.2%)	—	2,666頭(100%)
合計	5,764頭(96.0%)	170頭(2.8%)	64頭(1.1%)	7頭(0.1%)	6,005頭(100%)

※自主検査:全戸検査済み農家(1回目の検査が50Bq/kg以下)の2回目以降の検査

(2) 県外

と畜頭数:8,381頭(～50Bq/kg:8,378頭、50～100Bq/kg以下:2頭、100～300Bq/kg:1頭)

(参考)食肉市場での和牛去勢牛肉の価格動向

(単位:円/kg)

	東京食肉市場平均		うち岩手県出荷分	
	A5	A4	A5	A4
H22.7月平均	2,118	1,703	2,168	1,672
汚染わら問題発覚前(H23.7.11～15平均)	1,862	1,469	2,063	1,648
〃 発覚後(H23.7.19～22平均)	1,618	1,073	1,604	1,044
〃 (11月平均)	1,791	1,511	1,844	1,490
〃 (12月平均)	1,902	1,549	1,956	1,596
〃 (1月平均、1/20まで)	1,897	1,559	1,917	1,579
1月期の前年同月比	89.2%	89.0%	90.7%	89.7%

5 豚肉・鶏肉・鶏卵の検査状況

- ・月1回の検査を実施
- ・全ての検体で「不検出」
(検査結果)

区分	10月		11月		12月		1月	
豚肉	紫波町	不検出	岩泉町	不検出	矢巾町	不検出	八幡平市	不検出
	野田村	〃						
鶏肉	二戸市	〃	大船渡市	不検出	二戸市	不検出	久慈市	不検出
	一関市	〃	九戸村	〃	住田町	〃	一関市	〃
			八幡平市	〃	軽米町①	〃	九戸村	〃
			盛岡市	〃	軽米町②	〃	大船渡市	〃
鶏卵	紫波町	不検出					八幡平市	〃
	雫石町	〃						

6 汚染稲わら、牧草及び堆肥の処理

(1) 18市町における稲わら及び牧草の処理状況 (H23.12.2時点)

	稲わら保管量 (t)				処理計画 (市町数は重複カウント)			
	8,000Bq 以下	農家 戸数	8,000Bq 超過	農家 戸数	一時 保管	焼却	地中 保管	すき 込み
計	294.9	121	287.9	60	5市町	5市町	5市町	5市町

注) 汚染稲わらの全体合計：18市町、181戸、583t

(2) 牛ふん堆肥

- ・汚染稲わらを利用した農家254戸のうち90戸で堆肥の暫定許容値(400Bq/kg)超過を確認。
- ・超過堆肥の区分保管を指導。

牛ふん堆肥の放射性セシウム濃度検査結果

(単位：戸)

	400Bq/kg 以下	400Bq/kg 超過	計
農家戸数	164戸	90戸	254戸

(3) 対応

- ①事業名 : 利用自粛牧草等処理円滑化事業 (8/22 知事専決)
- ②予算額 : 194百万円 (国予備費を活用)
- ③支援対象 : 暫定許容値を超過した牧草、稲わら、堆肥
- ④内 容 : 牧草及び稲わらの処分 (焼却や地中保管等)、堆肥の一時保管に要する経費への支援